

# 【記入例（ふるさと活性化事業）】

様式第1号（第3条関係）

2019年 3月 6日

喜多方市長

申請書の提出年月日  
をご記入ください。

住 所

喜多方市〇〇町〇〇字〇〇1234-5

事業主体名

〇〇〇〇実行委員会

代表者氏名

実行委員長 〇〇 〇〇 印

申請する団体の「住所（所在地）」  
「名称」代表者の「役職」「氏名」を  
ご記入ください。

ふるさと創生事業補助金交付申請書

2019年度において、ふるさと創生事業（**ふるさと活性化** 事業）を実施したいので、下記  
のとおり申請します。

補助事業の名称（「ふるさと活性化」又は「地域のにぎわい創出」）をご記入ください。

記

1 事業の名称	( <u>新規・継続 2回</u> ) <b>喜多方おもちゃ病院事業</b>
2 事業の目的	<p>《記載例》 地域の子どもに対して、おもちゃ修理や工作教室及び世代間の交流などに関する事業を推進することで、ものづくりの楽しみ・科学に対する興味・ものを大切に作る心・思いやりの心を醸成し、次代を担う子ども達の健全育成を図ることを目的とする。</p>
3 事業の内容	<p>【おもちゃ診断会（1回開催）】 日時：〇〇年〇〇月〇〇日（日）10:00～15:00 会場：喜多方プラザ文化センター〇〇会議室 内容：子どもたちにおもちゃの仕組みを伝えたり、治療（修理）したりすることにより、「もの」の大切さを伝える。</p> <p>【おもちゃドクター養成講座（3回開催）】 日時：〇〇年〇〇月〇〇日（日）10:00～12:00 〇〇年〇〇月〇〇日（日）10:00～12:00 〇〇年〇〇月〇〇日（日）10:00～12:00 会場：喜多方プラザ文化センター〇〇会議室 内容：壊れたおもちゃやぬいぐるみ等を治療（修理）して新たな命を吹き込む技術や知識を身につけるための講座。</p>
4 補助申請額	<b>50,000 円</b> 申請額は1,000円未満の端数は切り捨てとなります。
5 収支予算	(別紙、収支予算書のとおり)
6 事業期間	着手 <u>2019年 4月 1日</u> 完了予定 <u>2019年 9月 30日</u> 単年度で完了する事業（事業期間が2019年4月1日～2020年3月31日まで）が補助対象となります。 ※年度をまたぐことはできません。

補助金を活用して実施する事業名をご記入ください。

初めて申請する事業の場合は「新規」、2回目又は3回目の場合は「継続」に〇をつけて回数をご記入ください。（2回目の場合は、継続2回）

事業の目的（＝なぜこの事業を行うのか）について、下記の内容がわかるようにご記入ください。  
①誰を対象に  
②どんな事業を行い  
③何を期待するのか

実際に実施する事業の内容について、下記の内容がわかるようにご記入ください。  
①何を  
※なんのイベント（行事等）を  
②いつ  
③どこで  
③イベント（行事等）の説明

# 【記入例（地域のにぎわい創出事業）】

様式第1号（第3条関係）

2019年 3月 6日

喜多方市長

申請書の提出年月日  
をご記入ください。

住 所

喜多方市〇〇町〇〇字〇〇1234-5

事業主体名

〇〇〇〇行政区

代表者氏名

区長 〇〇 〇〇 印

申請する団体の「住所（所在地）」  
「名称」代表者の「役職」「氏名」を  
ご記入ください。

ふるさと創生事業補助金交付申請書

2019年度において、ふるさと創生事業（地域のにぎわい創出事業）を実施したいので、下記  
のとおり申請します。

補助事業の名称（「ふるさと活性化」又は「地域のにぎわい創出」）をご記入ください。

記

1 事業の名称	( <u>新規</u> ・継続 回 ) <u>〇〇〇〇行政区太鼓台等修繕事業</u>
2 事業の目的	<p>《記載例》</p> <p>〇〇行政区では、毎年〇月に行われる地域の祭礼に向けて、〇月頃から地域の子どもや大人が集会所に集まりお囃子の練習をしている。しかし、使用している太鼓台やばち、摺り鉦などが経年劣化による破損があることから修繕、新調を行うことにより、地域の伝統行事の保存、継承を図る。</p>
3 事業の内容	<p>下記祭礼道具の修繕・新調を行い、今年の祭礼に向けた練習から使用する。</p> <p>①長胴太鼓 1台 修繕（革張替え） ②長胴太鼓 1台 新調 ③太鼓台座 2台 新調 ④太鼓ばち 4組 新調 ⑤摺り鉦 2個 新調</p>
4 補助申請額	<u>200,000</u> 円
5 収支予算	(別紙、収支予算書のとおり)
6 事業期間	<p>着手 <u>2019年 4月 1日</u> 完了予定 <u>2019年 9月 30日</u></p>

補助金を活用して実施する事業名をご記入ください。

初めて申請する事業の場合は「新規」、2回目又は3回目の場合は「継続」に〇をつけて回数をご記入ください。（2回目の場合は、継続2回）

事業の目的（＝なぜこの事業を行うのか）について、下記の内容がわかるようにご記入ください。  
①誰を対象に  
②どんな事業を行い  
③何を期待するのか

修繕・新調する内容について、下記の内容がわかるようにご記入ください。  
①品目  
②数量  
③修繕・新調の区別 など

申請額は1,000円未満の端数は切り捨てとなります。

単年度で完了する事業（事業期間が2019年4月1日～2020年3月31日まで）が補助対象となります。  
※年度をまたぐことはできません。

## 【記入例（収支予算書）】

様式第1号別紙

収支予算書

(1) 収入

収入（財源）の内訳を具体的にご記入ください。  
※補助金申請額は1,000円未満の端数は切り捨てとなります。

区 分	予算額	積算基礎
補助金（申請額）	125,000	ふるさと創生事業補助金
参加料	100,000	イベント参加料 大人 @1,000円×50人 子ども @500円×100人
自己財源	25,000	〇〇〇実行委員会会計より支出
合 計	250,000	

(2) 支出

支出の内訳について、単価や数量等がわかるよう具体的にご記入ください。  
※補助金申請額は1,000円未満の端数は切り捨てとなります。

区 分	事業費予算額	補助対象額	補助金額	積算基礎
報償費	30,000	30,000		講演会講師謝金 @20,000円×1人 @10,000円×1人
交通費	19,600	19,600		講師旅費 東京ー喜多方間往復 @9,800円×2回
消耗品費	10,400	10,400		事務用品 @5,000円 コピー用紙 @5,400円
印刷製本費	150,000	150,000		ポスター・チラシ式 @150,000円
手数料	5,000	5,000		〇〇手数料 @1,000×5回
使用料及び賃借料	35,000	35,000		会議室使用料@30,000円 車両借上料 @5,000円
合 計	250,000	250,000		

補助金の交付決定後、補助対象経費の総額の20%を超える変更がある場合は、変更申請の対象となります。  
また、補助金交付決定後の補助金の増額はできませんので、金額積算にあたってはご注意ください。

事務処理欄（記入しないでください）

事業名	申請回数	補助率	補助金額
□ ふるさと活性化事業	□ 新規	1/2	補助対象経費 補助率 ( )円 × ( ) = ( )円
	□ 継続 ( 回)	1/5	
□ 地域のにぎわい創出事業	□ 新規	3/4	補助決定額 □補助金額 ( )円
			□上限額 ( )円

記載不要